

新着本紹介

- ・千支の切り紙 かわいい動物たち120作品が勢ぞろい 大原まゆみ/著 誠文社新光社
- ・豊かな節約暮らし 60歳からのスローライフ 丸田 潔・稲毛 由佳/著 旬 報 社
- ・認知症の安心生活読本 鳥羽 研二/著 主婦と生活社
- ・型別 魚のおろし方 柴田書店/編 柴田書店
- ・こんこんぞうり・布ぞうり 古着・手持ちの布でも作れる 市ノ瀬絵里子/著 パッチワーク社
- ・経路リンパマッサージセルフケアBOOK 渡辺 佳子/著 西 東 社
- ・生きる。がんと向きあう7人のストーリー 井上侘奈・鳥越俊太郎/ほか著 幻 冬 舎
- ・フリーター、家を買う。 有川 浩/著 幻 冬 舎
- ・あるキング 伊坂幸太郎/著 徳 間 書 店
- ・ハング HANG 菅田 哲也/著 徳 間 書 店
- ・ドラゴン・ティアーズ 龍涙 池袋ウエストゲートパーク9 石田 衣良/著 文 藝 春 秋
- ・91歳。今日を悔いなく幸せに 吉沢 久子/著 海 竜 社
- ・小さいころに置いてきたもの 黒柳 徹子/著 新 潮 社



シルトピアカレッジ図書館 ☎82-2002

2010 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

● 休館日 ■ 絵本のおはなし会

2010 国民読書年 2010年は「国民読書年」です。

年末・年始休館日のお知らせ

12月28日(月)から1月4日(月)まで休館です。

来月の「絵本のおはなし会」

1月も絵本の会「ゆきんこ」のみなさんによる楽しい絵本のおはなし会があります。みなさんぜひ聴きにきてください。

とき 1月16日(土) ひる2時～

ところ シルトピアカレッジ図書館(児童図書コーナー)

3学年校外清掃活動

11月4日、3年生53名と3学年担当の教員8名で学校周辺の道路等のゴミを拾って回りました。毎年清掃活動を行っていますが、年々ゴミの量が減っているように思われます。



第2回「友だちにすすめたい本」コンクール 佳作賞入賞2編

福山大学人間文化学部人間文化学科が昨年「友だちにすすめたい本」コンクールを創設しました。このコンクールは、本を読んで感動したことを表現し、友だちに伝えていこうという、本への関心を高めるコンクールです。今年も1・2年生全員が応募したところ、最優秀賞、優秀賞に次ぐ佳作賞に2編が入賞しました。

- 佳作賞 大埜友紀さん(1年)『ああ無情』 ヴィクトル・ユーゴー著 岩崎書店
- 佳作賞 塚本夏史さん(2年)『天使のラストメッセージ』 松原ななみ著 ディスカバー・トゥエンティワン
- 学校奨励賞 國岡希望さん(2年)『不思議の国のアリス』 ルイス・キャロル著 新潮文庫
- 学校奨励賞 竹迫 梓さん(2年)『ソウル・サーファー』 B・ハミルトン著 ヴィレッジ・ブックス
- 学校奨励賞 瀬尾知里さん(2年)『はるがいったら』 飛鳥井千砂著 集英社文庫



ワークショップの風景

保健福祉センターだより

『認知症サポーター養成講座』開催!

11月26日、神石高原商工会女性部の方を対象に、池本富美恵氏、高柴廣子氏、高橋文子氏を講師に迎え、認知症サポーター養成講座が開催されました。この講座は、「講演」「寸劇」「ワークショップ」の3部構成で行われ、認知症についての正しい理解と認知症の方への適切な対応について、みなさん熱心に受講されました。

受講者には、認知症の人を支援するサポーターの目印として、オレンジ色のブレスレット「オレンジリング」が渡されています。認知症サポーター養成講座は、これからも地域や団体等で実施していきますので、ぜひご参加ください。

● 認知症サポーターとは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。例えば、習った知識を伝えたり、認知症になった人や家族の気持ちを理解するように努めることも支援のひとつです。

● お問い合わせ  
保健課地域包括係  
(地域包括支援センター)  
☎89-3337

えのの通信

特集 県内一の夏秋トマトブランド「豊トマト」の紹介

「豊トマト」でおなじみの神石高原町の夏秋トマトは、味、品質がよく県内はもとより大阪市場等でも高い評価を得ています。本町におけるトマト栽培の歴史は古く、昭和20年代前半に導入が始まり、現在、生産者48戸・栽培面積9ha・販売金額3億円を目標にした県内一の産地となりました。



産地では、エコファーマー認証を受け安全・安心なトマトづくり、品質向上や安定継続出荷にむけて新技術の袋培地栽培導入の検討、産地見学会の開催など様々な取り組みによってブランド力強化を行い、さらなる発展をめざしています。

また、トマト栽培の普及を図るため、就農希望者への研修支援、ビニールハウスや養液土耕栽培システムの施設整備への支援などもあります。

お問い合わせ  
産業課  
☎89-3337